

基調講演

今回は、日本規格協会標準化研究センター長(元ISO会長)の田中正躬氏を講師として招き、「技術開発と国際標準化」をテーマに基調講演を行います。

【講師プロフィール】

昭和43年3月 京都大学大学院修士課程を修了し通商産業省(現在、経済産業省)に入省。化学、エレクトロニクス、石油、バイオ、窯業建材等の産業行政のほか、研究開発に係る企画立案及び研究管理の業務に従事。また、ISO(国際標準機関)の理事、アジア太平洋標準会議の議長を務めた。

平成10年経済産業省を退官し、日本化学工業協会副会長、建材試験センター理事長、日本規格協会理事を経て、現在 日本規格協会 標準化研究センター長。平成17年から2年間にわたりISO会長を務めるほか、日本工業標準調査会の副会長、米国の標準機関ASTM理事等を務める。現在は、政策研究大学院客員教授、東京大学非常勤講師。



日本規格協会標準化研究センター長
(元ISO会長) **田中正躬**氏

テーマ：「技術開発と国際標準化」

【講演概要】

企業の発展のためには、研究開発により新しい技術の芽を商品化に結び付けていくことが不可欠である。現在、グローバル化や市場化の進展による企業環境の変化のため、“ものづくり”に標準(モジュール)の考え方が注目を集めるようになった。標準は、規格を作ることと、適合性評価からなるが、この二つの行為は知的財産権や、独占禁止法、更にはWTOといった国際取引の制度とも深い係り合いを持つとともに、特に信頼性の観点から国際的な適合性評価のルールが重要である。本講演ではこの様な大きな変化の流れについてその概況と提言を述べる。